

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。22人の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党

千葉 修平 議員

問 脱炭素や災害対策として、も公用車にEV等を増やすべきか。

答 次世代自動車等導入方針に基づき公用車の電動化を進めてきたが、市役所での取り回りを一層推進し、普及促進を図る。「走る蓄電池」としてEV等を活用した災害への強靱化推進とV2H設備導入や次世代自動車の個人購入への補助を、市内の老朽化した排煙やプロック塀への対策を。

加藤 和彦 議員

○アフターコロナを見据えた地域経済の回復に向けた戦略

○仙台・東北の強みを生かした東北連携と地域活力の向上

○国道48号線を軸に沿道地域の魅力を引き上げ、つなげることで新たな仙山交流の創出を

○作並・新川地区における農業振興、オトキヤンプ場の誘致、森林資源の活用

○宮城総合支所の機能強化による多面的な仙山連携の推進

橋本 啓一 議員

○社会生活を維持するために必要な職種の感染防止策と支援

○救急搬送困難事例への対応とDAXによる救急搬送の効率化

○小中学校のオンライン授業の早期実施に向けた具体的支援

○トップセールスによる企業

嶋中 貴志 議員

問 施策方針の各種施策は評価するが、重要なのは東北連携の視点であり、今後の取り組みについて伺う。

答 本市がリーダーシップをとり各自自治体と連携し、東北の多彩な文化、自然、芸術等の資源の魅力向上や発信、起業の促進や交流人口の拡大に寄与し、東北の活性化に力を尽くす。

○学校の水泳授業の民間委託

○ヒアリング・フレイル対策

鎌田 城行 議員

問 スポーツとともに文化面で活躍する方々への励まし・顕彰にも力を入れるべき。市長が直接励ます機会を設けて賛辞を送れ。

答 優れた実績を挙げた文化芸術の担い手の方々にはスポットを当て、さらなる活躍を後押しする制度創設について検討する。

○郷土の偉人等を顕彰する場づくりの推進と進捗状況

○ホームページでの顕彰の発信

せんだい自民党

田村 勝 議員

問 避難所機能充実やバリアフリー化、脱炭素化やICT化、感染症対策、他公共施設との複合化等、未来を見据えた学校施設のビジョン制定を求める。

答 国の新しい時代の学びを表現する学校施設の在り方の議論も注視し、環境整備に努める。

○将来人口予測の見直し

○コミュニティまつり助成金

○町内会再編支援とICT支援

○市立高校の一人一台端末整備

誘致の成果と今後の戦略

○4病院再編統合に関し市内2病院と意見交換するとともに、仙台圏域の医療の在り方を改めて県と協議を

野田 謙 議員

問 音楽ホールをはじめとした案とされた多くの施策の成功のため、2人の副市長が市役所に横串を刺す組織間の連携を作り出し市長の下で進める有効的な組織体制の構築を、両副市長を含め各局が連携した体制の中で、横串を何本も刺すつもりで事業を進めていく。

○区役所での在り方と権限拡充

○泉区北中山地区の地滑り対策

○職員意識改革の新たな方策

西澤 啓文 議員

問 新型コロナウイルス収束後の観光における都市間競争の激化を見据え、DMOの早期設立を、関連事業者の意見も伺いながら、交流人口・ビジネス活性化戦略推進の中で鋭意検討する。

○博物館・美術館中の観光誘客

○育成のため、仙台観光国際協会へ若い市職員の派遣を

○定禅寺通エリアに若者が継続的に活躍できる場の整備を

○今後の広瀬通の渋滞対策



定禅寺通の活性化に向け令和3年に実施したストリートマーケットの様子

渡辺 博 議員

○歩行者自身の命を守る交通ルール順守の啓発について

○県警との連携強化を図るべき

○通行の支障となる電柱の実態把握と解決に向けた体制整備

○(仮称)仙台市文化芸術推進基本計画は、日本の伝統

斎藤 範夫 議員

問 いじめ防止条例制定時、市長は、児童生徒の自己肯定感が低いことを強調していた。その後の取り組みと課題を伺う。

答 本市の子どもの自己肯定感は「たくましく生きる力育成プログラム」等の実施で高まったが、まだ低い状況であり、さらに高めていく必要がある。

○歴史教科書と授業の適正化

○伊達文化と能楽堂整備

○泉区役所建替事業の課題

佐藤 正昭 議員

○羽生選手の思いをくんだアイスアリーナ仙台をクラウドファンディングやふるさと納税、寄付など民間資金を活用して整備すべき

○公共施設は赤字で当たり前は昭和の感覚。民間の知恵と発想で赤字体質から脱却を

○アフターコロナの音楽ホール、仙台市体育館を公民連携で市民が求める稼げる施設・もうかる施設を

日本共産党

庄司 あかり 議員

問 学校のトイレへの生理用品設置について、子どもへの健康を尊重したい。

答 児童生徒の健全育成のためさまざまな面から検討が必要。子どもへの健康をつかさどる看護教諭の意見を尊重したい。

○会計年度任用職員の号俵引き上げで賃金格差の是正を



世界が待ち望むアイスアリーナ仙台(写真は羽生選手のモニュメント)

文化を意識しながら策定を

○親とは別に子どもに特化した貧困対策の取り組みの強化を

○事業の選択と集中による次期子どもの貧困対策計画の策定

山下 純 議員

問 自覚症状がない緑内障の周知と検査の啓発を求め

答 ホームページの活用等による周知とさまざまな機会を捉えた啓発に努める。

○臨時休校措置による学校給食廃棄の再発防止を

○可能な限り廃棄が発生しないよう給食センターと調整し、食材の有効活用を努める。

○難病者に対する支援の充実

○眼科検診で眼底OCT検査を

郷古 正太郎 議員

問 児童の欠員の影響で保育園の統廃合や譲渡を検討する事業者への積極的支援を

答 検討中の事業者から状況を知った上で相談にも応じるなど、適切な支援に取り組み

○アプリで保育園の空き枠情報の可視化などDX化を進めよう

○民法改正で可能となる隣地から越境した枝の切除に係る情報発信と枝処理の支援

○オンライン授業配信への支援



保育園児童の欠員問題の解決に向け積極的な取り組みを

鈴木 すみえ 議員

問 再犯防止推進のため、更生支援の推進や体制整備、市民理解増進等を条例化し、安全で安心して暮らせるまちづくりを

答 せんだい支えあいのま

審議の概要

嵯峨 サダ子 議員

問 保育士・介護職員の処遇改善

○保育費立て替え事業の実施を

答 国が本市の被災者支援策を例に議論していることも踏まえ、動向を注視し検討を進める

○被災箇所未修繕の834戸を調査し個別支援につなげよう

○東日本大震災で成庭台のマンションの被害判定のランクが下がり、住民が支援金等の返還を請求された問題



本市でも学校トイレに生理用品の設置を(写真は多賀城市立中学校のトイレ)

伊藤 ゆうた 議員

問 音楽ホールの建設事業費が際限なく膨らむことを避けるため、コスト増減管理を徹底すべき

答 基本構想の策定過程で財源確保策を含め改めて精査し、この段階で算出する建設事業費を基礎に、過度に財政負担が増えないよう努める。

○中心部震災メモリアル拠点整備に先行し施設運営やソフト事業を担う人材育成を

市民と未来のために

市民と未来のために

伊藤 ゆうた 議員

問 音楽ホールの建設事業費が際限なく膨らむことを避けるため、コスト増減管理を徹底すべき

答 基本構想の策定過程で財源確保策を含め改めて精査し、この段階で算出する建設事業費を基礎に、過度に財政負担が増えないよう努める。

○中心部震災メモリアル拠点整備に先行し施設運営やソフト事業を担う人材育成を

ち推進プランに基づき設置した再犯防止推進ネットワーク会議を中心に、関係機関と連携を強めながら取り組みを推進する

○少年たちを犯罪に向かわせないための市の取り組み

○孤独対策担当部署の設置

安孫子 雅浩 議員

問 介護現場の人手不足は深刻。市は保険者として、危機感を持って対策を講じるべき

答 介護を志す方々が定着する体制づくりが大事。事業者や県と連携し、積極的に対応を

○泉区役所庁舎整備により泉中

○中央地区のまちの骨格軸形成を

○市民の健康増進の観点に立つた新たなスポーツ推進計画を

○夜間中学での外国籍生徒への日本語学習指導の充実を

公明党

竹中 栄雄 議員

問 大震災から11年だが、どのように風化と戦い、防災減災の都市へ本市を導くのか

答 「防災文化」・「災害文化」の創造と世代を超えた継承により、「防災環境都市・仙台」のまちづくりを進める

○災害時の応急仮設住宅にムービングハウスの活用を

答 今後、検討していく。

○防災士研修への補助を

○沿岸地域へ自動運転交通を



グループワークの際にアクリル板を導入している小学校

佐々木 真由美 議員

問 学校での感染対策にハード面の対策も盛り込むべき

答 アクリル板やサーキュ

令和4年2月22日開催

委員会に付託された議案の番号を各常任委員会名の隣に記載しています。

各議案の名称は、8面の会派別議案番号一覧表をご覧ください。

常任委員会審議の概要

付託された議案番号 (第37・44・52・61号)

健康福祉委員会

健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管

付託された議案番号 (第37・44・52・61号)

付託議案番号

付託された病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例ほか11議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○付託議案の質疑項目

○腎臓内科を診療科目として設置することにした経緯および理由

○宮城社会福祉センターおよび泉社会福祉センターの大規模改修等スケジュール

総務財政委員会

危機管理局・総務局・まっすぐり政策局・財政局・その他を所管

付託された議案番号 (第32・34・67号)

付託議案番号

付託された職員定数条例の一部を改正する条例ほか3議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○付託議案の質疑項目

○地方税共同機構に職員を派遣することにより本市が得る利益に対する認識

○職員が育児休業を取得しやすい環境づくりへの取り組み

市民教育委員会

市民局・消防局・教育委員会を所管

付託された議案番号 (第35・42・45・50・64・66号)

付託議案番号

付託された交通指導隊条例の一部を改正する条例ほか10議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○付託議案の質疑項目

○現状の本市の交通指導隊の定員数と隊員数、年齢構成について

○交通指導隊隊員の対象年齢拡大に伴う募集方法の工夫

都市整備建設委員会

都市整備局・建設局・水道局・交通局を所管

付託された議案番号 (第39・43・51・68号)

付託議案番号

付託された仙塩広域都市計画事業仙台市蒲生北部被災市街地復興土地画整理事業施行規程の一部を改正する条例ほか3議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○付託議案の質疑項目

○最終的な事業費および事業開始当時から比較した縮減額と縮減理由

健康福祉委員会

健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管

付託された議案番号 (第37・44・52・61号)

付託議案番号

付託された病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例ほか11議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○付託議案の質疑項目

○腎臓内科を診療科目として設置することにした経緯および理由

○宮城社会福祉センターおよび泉社会福祉センターの大規模改修等スケジュール

用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

● **バスタプロジェクト** (注1)

(3面2段)

鉄道やバス、タクシーなど、多様な交通手段がつながる集約型公共交通ターミナル(バスタ)を、官民連携で整備する国土交通省のプロジェクト。地域における課題を解決するとともに、道路ネットワークの機能を最大限発揮し、地域活性化や災害対応強化、生産性向上の実現を図る。

● **EV** (注2)

(4面1段)

Electric Vehicleの略で、電気自動車のこと。

● **V2H** (注3)

(4面1段)

Vehicle to Homeの略。電気自動車等に搭載された電池に充電された電気を、家庭用電力等として利用する仕組み。

● **DMO** (注4)

(4面2段)

Destination Management / Marketing Organizationの略で「地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する」「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりのかけり役として、国による登録を受けた法人。各種ツアー等を集集・分析して戦略を策定するとともに、多様な関係者と共同しながら、戦略を着実に実施するための調整機能を備える。

● **ヒアリングフレイル** (注5)

(5面1段、7面2段)

フレイル(加齢による心身の脆弱)の一つであり、聴覚機能の衰えのこと。聴こえにくさから会話に参加することが困難となり、人とのつながりが低下することで、心身のフレイルや認知症、うつ病のリスクを高めることが懸念される。

● **コミュニティ・スクール** (注6)

(6面1段、6面5段)

学校運営協議会制度を導入した学校のこと。保護者や地域住民が学校の運営に参画し、地域と一体となった特色ある学校づくりを推進すること。子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みの構築や、質の高い教育の実現を図るもの。

● **消化ガス発電** (注7)

(6面6段)

下水汚泥を処理する過程で発生するメタン等の消化ガスを燃料として利用して発電する仕組みのこと。

● **マイ・タイムライン** (注8)

(7面2段)

風水害の発生に備え、家族構成や生活環境に合わせ、自身や家族の取るべき行動について住民自らが時系列で整理し作成する避難計画のこと。風水害時の安全な避難行動につながる効果が期待される。

● **SBL** (注9)

(7面2段)

仙台市地域防災リーダー(Sendai City-chiiki Bouzai Leader)の略。平成24年度から本市独自のカリキュラムに基づき養成を行っており、774名(令和4年4月1日現在)が活動中。地域に根差した自主防災活動を推進する役割を担っており、効果的な防災訓練の企画運営や災害時の地域住民の避難誘導等で活躍している。

● **インクルーシブ教育** (注10)

(7面5段)

障害のある方とない方が共に学ぶ仕組みのこと。人間の多様性の尊重等の強化と、障害のある方が精神的および身体的な能力等を可能な最大限まで発達させ、自由な社会への効果的な参加を可能とすることを目的とする。